

母性看護学概論	1 年・後期	1 単位	准教授 西川 明美
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210771

1. 授業のねらい・概要

本科目は、母性看護の基盤となる概念、現状と動向、母性看護学の機能と役割について学習する。また、女性のライフステージ各期の概観から、身体的・心理的・社会的・文化的背景を理解し、生活及び健康問題に関して母性看護のあり方を考える。

2. 学修の到達目標

1. 母性看護の概念、役割が理解できる。
2. リプロダクティブヘルス/ライツの概念が理解できる。
3. 母子保健の変遷と動向が理解できる。
4. 女性のライフステージ各期の特徴と健康問題について理解できる。
5. 女性の健康を保持増進するための看護について考えることができる。

3. 授業の進め方

講義・グループワーク

4. 授業計画

1. 母性看護の基礎となる概念（母性とは、リプロダクティブヘルス/ライツ）
2. リプロダクティブヘルスに関する動向（母子保健統計）
3. リプロダクティブヘルスに関する倫理と法律①
4. リプロダクティブヘルスに関する倫理と法律②
5. 生殖に関する生理
6. 生殖における健康問題と看護
7. 年齢とホルモンの変化
8. まとめ

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）80%、課題レポート20%で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト 中込さと子他（2019）：ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護
メディカ出版

参考文献 森 恵美他（2019）：系統看護学講座 母性看護学〔1〕 母性看護学概論 医学書院

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

授業の範囲をテキスト・レジュメで予習をして臨み、授業内容について1時間以上の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

母性看護学実習Ⅰ、母性看護学実習Ⅱの先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容を確認して返却する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得出来ない場合進級不可となる。